

平成30年第1回定例会6月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前10時から開催されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発言順位

6月15日(金)

(1)	宮坂	祐太	議員	(民主連合)P	1
(2)	山崎	雄史	〃	(真誠会)P	2
(3)	佐々木	敏	〃	(公明党)P	3
(4)	中西	礼皇	〃	(未来市民)P	4
(5)	寺井	吉広	〃	(真誠会)P	5

6月18日(月)

(6)	国出	拓志	〃	(公明党)P	6
(7)	出雲	晶三	〃	(未来市民)P	7
(8)	井藤	圭湊	〃	(真誠会)P	9
(9)	松井	久美子	〃	(公明党)P	10
(10)	丸谷	聡子	〃	(未来市民)P	12

6月19日(火)

(11)	梅田	宏希	〃	(公明党)P	15
(12)	永井	俊作	〃	(未来市民)P	17
(13)	楠本	美紀	〃	(日本共産党)P	19
(14)	家根谷	敦子	〃	(スマイル会)P	21
(15)	辻本	達也	〃	(日本共産党)P	22

※ 順位については予定です。

平成30年第1回定例会6月議会発言通告一覧表

発言順位	1	議員名	宮坂 祐太(民主連合)
発言事項	<p>1 行政計画の策定について</p>		
	<p>(1) 景観計画の策定について (要旨) 景観計画の策定に関する議論を進めていた明石市都市景観審議会は、他の議題に関する開催分を除き、平成28年5月27日を最後に開催されていません。地方公共団体の景観計画策定を後押しする国の方針を踏まえ、本年4月からの中核市移行に伴い県より移譲された屋外広告物関連の事務の執行状況を精査しつつ、景観計画策定に向けた議論を具体化すべき時期に来ていると考えますが、市の見解をお伺いいたします。</p> <p>(2) 下水道事業に係る経営戦略の策定について (要旨) 平成27年6月30日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015」では、公営企業について、地方財政をめぐる厳しい状況を踏まえ、「経営戦略の策定等を通じ、経営基盤強化と財政マネジメントの向上を図る」とされています。 本市では平成29年3月に水道事業経営戦略が策定されていますが、長期的な収支見直しを中心とした、下水道事業に係る経営戦略の策定に向けての、基本的な考え方や進捗状況についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定について (要旨) 本年5月、中小企業における設備投資の促進等を通じて生産性の向上を図るため特別措置法が制定され、償却資産に係る固定資産税の特例措置制度が創設されました。 当該制度の認定を受けるためには、市町村が導入促進基本計画を策定した上で、企業が同基本計画に基づく先端設備等導入計画を策定することが必要ですが、固定資産税の減免に係る市税条例の改正に向けた準備状況も含め、本市における導入促進基本計画策定に向けた進捗状況についてお伺いいたします。</p>		

発言順位	2	議員名	山崎雄史(真誠会)
発言事項	<p>1 高齢者施策について</p> <p>(1) (仮称) 高齢者元気バック制度の導入について (要旨) 超高齢社会において、高齢者の健康促進、元気づくりは大変重要な施策であると考えます。 医療・介護の給付費が増加し続ける一方、健康を保持し、地域で活動する方もいる。そうした方を支援する方策として、介護や医療を受けずに元気で暮らしている高齢者に対して、一定のルールのもと、特典を付与する制度が必要と考える。高齢者の健康促進と元気づくりの一環として、明石市独自の制度となる元気高齢者への還元策を考えられないか、見解を聞く。</p> <p>(2) 敬老金の今後のあり方について (要旨) 敬老金の支給について、全国的に縮小や廃止などの動きが見られるが、本市における今後のあり方を問う。地域で長く明石のまちのためにご尽力いただいた高齢の方々には、市として敬意を表す、また、支給の際は生活上の困りごとなどを把握できる機会ともなることから、敬老金は継続すべきと考える。</p> <p>(3) 高齢者応援企業の募集について (要旨) 多くの元気高齢者が地域活動等にご尽力、ご活躍されている。こうした活動を支援するために、行政だけでなく民間企業等の力も活用した取り組みを検討できるのではないかと考えるが、高齢者の地域活動等を応援する施策について見解を聞く。</p> <p>2 「食」を通じた地域の安心について</p> <p>(1) 「みんなの給食プロジェクト」の展開について (要旨) 今年度の主要施策に「みんなの給食プロジェクト」が掲げられ、幾つかの中学校区で、中学校給食センターを活用した高齢者の昼食サービス事業がモデル実施される。誰もが欠かせない「食」を通して、地域での支え合いが芽生えたり、活性化につながったりすれば、地域の安心に結びつくと考える。今後の展開をどう計画しているのか、見解を聞く。</p>		

発言順位	3	議員名	佐々木 敏 (公明党)
発言事項	<p>1 漁業振興について</p> <p>(1) 各下水処理場の栄養塩放流の現状について (要旨) きれいな海から豊かな海にしていこうという流れの中で、各下水処理場からの栄養塩放流に大きな期待が寄せられている。現状はどうなっているのか。</p> <p>(2) 各下水処理場の栄養塩放流の今後の取り組みについて (要旨) 兵庫県も豊かな海の実現を加速する方向で播磨灘流域別下水道整備総合計画の見直しを検討している。本市としては、各下水処理場の栄養塩放流の今後の取り組みについてどのように考えているのか。</p> <p>(3) 海へ直接、栄養分を投入することについて (要旨) 費用対効果を考えると、各下水処理場からの栄養塩放流が最も良いと思うが、充分ではない。直接、海へ栄養分を投入すれば効果的だと考える。</p> <p>(4) 漁業の後継者育成について (要旨) 将来の明石市の漁業を維持していくために、後継者育成は大事なことであると考えます。市は漁業の後継者育成についてどう考えているのか。また、市として応援できることはないか。</p> <p>2 スクールガードについて</p> <p>(1) スクールガードの体制維持、拡大について (要旨) スクールガードの現在の体制を維持していくのが難しくなっているとお聞きしている。維持するために手を打っていきべきだと考える。また、子どもを守るため、今以上に拡大すべきであると考えます。</p> <p>3 建築基準を満たさない賃貸物件への対応について</p> <p>(1) 大手不動産会社施工の建築基準を満たさない賃貸物件への対応について (要旨) 明石市内には同社の賃貸物件が多数ある。建築基準を満たしていないのではないかと市民から不安の声が寄せられているが、市としてどのように対応しているのか。</p> <p>(2) 今後の対策について (要旨) このようなことが今後起こらないよう、しっかり対策をしなければいけないと考える。</p>		

発言順位	4	議員名	中西 礼皇(未来市民)
発言事項	<p>1 議案第57号 明石市職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例制定のことについて</p> <p>(1) 里親休暇制度が市職員に対してボランティア里親となることを強要する無言の圧力にならないための取り組みについて (要旨) 義務的に受け入れる家庭が発生することは、市職員にも子どもにも望ましくない。</p> <p>2 明石市役所でのパワーハラスメント等への対策について</p> <p>(1) 市幹部職員によるハラスメント事案について (要旨) 過去の調査や処分について問う。</p> <p>(2) 職場からパワハラをなくすための取り組みについて (要旨) 再発防止策は十分なのか、他にパワハラ事案がないのかを問う。</p> <p>3 明石市の広報の手法について</p> <p>(1) 東播磨ちゃん動画騒動への認識について (要旨) 東播磨県民局が制作したPR動画に市長がクレームをつけたと報道されている騒動に対する認識を問う。</p> <p>(2) 周辺自治体とのあつれきを生む手法の見直しについて (要旨) これまで何度も周辺自治体とのあつれきを生んできた手法は、市民にも評価されるものでなく、見直すべきであると考えている。</p>		

発言順位	5	議員名	寺井吉広(真誠会)
発言事項	<p>1 離婚後のこども養育支援について</p> <p>(1) 面会交流支援の実施状況について (要旨) 離婚後の親子の交流は子どもの成長にとって大切だと考える。市の支援の実施状況と今後の取り組みについて問う。</p> <p>(2) 養育費確保の支援策について (要旨) 離婚相手から養育費を支払ってもらえないひとり親家庭も多く、相談もよく聞く。より一層の支援を検討してはどうか。</p> <p>2 国際性豊かなまちづくりについて</p> <p>(1) 外国人が住みやすいまちについて (要旨) 市内で生活する外国人が安心して暮らすことができる環境づくりが必要ではないのか。</p> <p>(2) 外国人が訪れたいまちについて (要旨) 本市を訪れ滞在する外国人が快適に活動することができる環境づくりが必要ではないのか。</p>		

発言順位	6	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>1 受動喫煙防止のため、通学路における歩きたばこ禁止条例を制定しないか</p> <p>(1) 受動喫煙防止のため、通学路における歩きたばこ禁止条例を制定しないか。</p> <p>(要旨) 平成22年2月25日、厚生労働省健康局長より各保健所設置市長宛てに出された「受動喫煙防止対策について」(いわゆる平成22年健康局長通知)を踏まえて質問する。</p> <p>子どもたちが利用する通学路では吸わせないという断固たる姿勢と対策が求められており、そのためには、まずは条例という法的根拠を定め、罰則規定も設けることで、子どもたちの健康被害を絶対に起こさないという対策が必要と考えます。</p> <p>2 市民の利便性向上のために</p> <p>(1) 耐震診断における配慮について</p> <p>(要旨) 市民への耐震診断の案内において、耐震改修の実績を表示するとともに、改修工事業者についても、特に近隣であれば他都市の業者であっても、実績に基づき紹介してはどうでしょうか。</p> <p>(2) 高齢者予防接種における配慮について</p> <p>(要旨) 高齢者が対象となるインフルエンザ予防接種及び肺炎球菌予防接種について、同じ市民、同じ高齢者でありながら、人によって手続き等に大きな差がある。同一市民、同一治療、同一手続きを目指すべきではないでしょうか。</p> <p>3 昨年12月1日施行の施策について</p> <p>(1) 合葬式墓地について</p> <p>(要旨) この半年間の申し込みの経過と現状についてお聞かせください。他都市より転入してこられた方や、もともと市内在住の方も含め、いまだにご存じない方もおられます。今後の広報活動はどのようにされるのでしょうか。</p> <p>(2) 市長への意見箱について</p> <p>(要旨) 今までに寄せられたご意見の件数及び内容、それらをどのように市政に反映しておられるのか。また、ご意見を寄せられた方にどのようにフィードバックをされておられるのか、具体的にお聞かせください。</p>		

発言順位	7	議員名	出雲 晶三(未来市民)
発言事項	<p>1 明石市の財政状況と今後の財政運営の見通しについて</p> <p>(1) 明石市の現在の財政状況について (要旨) 先般あるメディアによる本年度予算の分析で、「一般会計は過去最大の積極予算」や「税収も市債発行も増加」、「売上が好調だが・・・」などの見出しが見られた。 明石市の3つの財政指標や、市税収入と基金残高の推移などを調べると、良くはないものの極端に悪くもないことがうかがえる。現在の本市の財政状況を市はどのように評価しているのかを聞く。</p> <p>(2) 国の財政状況が明石市に及ぼす影響について (要旨) 現在、国の財政はかなり悪いと見てとれる。プライマリーバランスは10年以上も赤字で推移し、債務残高に対するGDP比では断トツの世界ワーストワンである。行政サービスは借金で賄われていて、子や孫につけを回していると言っても過言ではない財政状況である。国債の下落など、国の財政状況の悪化が露呈したとき、市財政にはどのような影響があると考えているのかを聞く。</p> <p>(3) これからの財政見通しと財政のかじ取りについて (要旨) 本市では、これからも本庁舎の建てかえ、ごみ焼却施設の整備、第2子以降保育料無料化などによる扶助費の増加などで、財政負担が大きくなると推測できる。これからの本市の財政見通しをどのように考えているのか。また、これからの財政のかじ取りをどのような心構えで行うのかを聞く。</p> <p>2 明石川の治水のためのJR橋梁の改修について</p> <p>(1) JR橋梁の下部土手のボトルネック解消について (要旨) JR橋梁の下部の土手が川に10m飛び出し、堰のようになっている。この解消について、平成27年9月の本会議でこの改修工事についての質問を行った。その際に、詳細設計に向けた条件整備が整い次第、本格的に工事実施に向けた詳細設計に着手する予定であるとの答弁があったが、その後の進捗状況について聞く。</p> <p>(2) 改修工事の完了時期について (要旨) 明石川流域に住む住民は、大雨のたびに水害を心配しなければならない。市民が安心して生活するためには、この改修工事の早期の完了が必要である。完了はいつごろになるのか。</p>		

発言順位	7	議員名	出雲 晶三(未来市民)
発言事項	3 国道2号和坂拡幅道路改築事業について		
	<p>(1) 林崎跨線橋と事業全体の工事内容と工程について (要旨) 林崎跨線橋の南側の橋梁工事が本格化している。橋梁工事の進捗状況及び今後の予定と工事の内容を聞く。また、事業全体の進捗状況と今後の工程、完了のめどについて聞く。</p> <p>(2) 中央分離帯の設置について (要旨) 円滑で安全な交通確保のために中央分離帯は必要であるが、沿道サービスと市民生活のために中央分離帯を設置しないところを設けると聞いている。今後の予定を確認する。</p>		
発言事項	4 山陽電鉄連続立体交差第2期事業について		
	<p>(1) 事業の効果について (要旨) 山陽電鉄連続立体交差第2期事業及び関連事業が、来年、平成31年3月に竣工を迎えると聞いている。平成14年3月に事業認可を受け、紆余曲折を経て、長きにわたり行ってきた事業の完了が間近に迫っている。市はこの事業の効果をもどのように捉え、評価しているのかを聞く。</p> <p>(2) 西新町駅前広場の完成と市民への周知について (要旨) 本事業も駅前広場の完成を待つのみとなった。この広場が魅力的なものになることを期待しているが、どのような広場にするのか。また、完成に際しては、公共交通の利用促進と市民への周知のために、広報紙への掲載やチラシの配布、式典の開催などが必要であると考えているが、市の考えを聞く。</p>		

発言順位	8	議員名	井藤圭湊(真誠会)
発言事項	<p>1 市制施行100周年事業及び明石城築城400周年事業の取り組みについて</p> <p>(1) 平成31年度の市制施行100周年の年は、どのような行事、事業を展開しようとしているのか。 (要旨) 明石にとってかけがえのない大きな節目となる平成31年度における市制施行100年記念事業に対する本市の基本的な考え方とその事業計画を伺いたい。</p> <p>(2) 平成31年度の取り組みをより効果的にするため、本年度はどのようにプレ事業を展開しようとしているのか。 (要旨) 本市にとって100年に一度の大事業を翌年に控え、どのようなプレ事業を展開しようとしているのか、事業計画の進捗状況を伺いたい。</p> <p>(3) 明石城築城400周年を迎えるに当たり、兵庫県とどのような連携を図りながら事業を展開していくのか。 (要旨) 明石城が築城されて400年の歴史的な節目となるが、市民の宝としての城跡への愛着を育み、しっかりと歴史の検証もしながら、市制施行100周年と明石城築城400周年を記念する事業を展開するには、兵庫県との連携が不可欠である。県との連携について伺いたい。</p> <p>2 父子家庭への支援について</p> <p>(1) 明石市における父子家庭の現状について (要旨) 父子家庭は母子家庭より少ないが、その差以上に児童扶養手当を受給している父子家庭数は少ない。支援の必要な父子家庭をどのように把握しているのかを伺いたい。</p> <p>(2) 父子家庭に寄り添った支援について (要旨) 父子家庭が抱える悩みは、家計や子育て、家事などさまざまであるが、一定の収入があると児童扶養手当の支給対象とならないため、孤立しがちである。父子家庭の特性に応じた幅広い支援が必要と考えるが、今後の支援の充実について伺いたい。</p>		

発言順位	9	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p>1 2015年の国連サミットで採択された国際目標、SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた今後の本市の取り組みについて</p> <p>(1) SDGsの基本理念の認識と今後の本市の取り組みについて (要旨) SDGsは、2015年に国連で採択され、人類及び地球の持続可能な開発のために達成すべき課題と目標である。その基本理念に対する認識と今後の市の取り組みについて聞く。</p> <p>(2) 明石市長期総合計画及び明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるSDGsの位置づけについて (要旨) 複数の計画があるのは、わかりづらいため、SDGsの17の目標を「新たなものさし」として位置づけることができないか。</p> <p>(3) 目標とする都市像の実現に向けて、職員、市内の事業者、市民に向けたSDGsの勉強会の開催と周知の必要性について (要旨) SDGsを理解し、認識を共有するために、勉強会の早急な開催が必要であると考えます。</p> <p>2 共生社会の実現に向けて、ユニバーサルデザイン施設の整備を</p> <p>(1) 明石駅周辺のトイレ不足の解消を。 (要旨) パピオスあかしが完成し、観光客が増加したにもかかわらず、明石駅周辺はトイレが不足しており、残念ながら「やさしいまちづくり」とは言い難い。来年の市制施行100周年に向け、駅周辺のトイレの増設が必要である。</p> <p>(2) 新設のトイレには、LGBT（性的少数者）にも配慮した「多目的トイレ」の設置を。 (要旨) わが国におけるLGBT（性的少数者）の割合は、8.0%（約12.5人に1人）であるといわれており、そのような状況にも配慮した多目的トイレの設置が必要である。</p> <p>(3) 市民センターや中学校コミセン等に洋式トイレの増設を。 (要旨) 高齢化が進展しているが、市民センターや中学校コミセン等には洋式トイレが少ないため、洋式化の必要性がある。</p>		

発言順位	9	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p>3 明石版こども食堂について</p> <p>(1) 市内の「こども食堂」の現状と成果について (要旨) 全28小学校区での開設を進める中、開設状況と既にスタートして1年が経過したこども食堂における成果を聞く。</p> <p>(2) 「こども食堂」へ来ることができない子どもへの支援について (要旨) 本当に支援を必要とする子どもがこども食堂に来るとは限らない現状があることから、フードバンクや企業などから提供を受けた食品を「宅食」に活用するなど、新たな支援を考えるべきではないか。</p> <p>(3) 食事を提供するだけでなく、子どもが自分で食事が作れるように支援する体制づくりへの転換を。 (要旨) 家庭でも地域でも、調理ができる子どもの育成が大変重要であり、家庭科の調理実習と連動させていくべきと考える。</p>		
	<p>4 母乳育児の大切さについて</p> <p>(1) 母乳育児の大切さを妊娠期から周知することについて (要旨) 海外の研究では、母乳で育てられた子どもは、人工乳で育てられた子どもと比べて、より健康で、知能指数(IQ)が高く、母乳で育てた女性は乳がんなどにかかりにくいとされている。こうした情報を妊娠期から周知することが大切である。</p> <p>(2) 新生児訪問等で母乳育児を支える支援づくりについて (要旨) 妊婦健康診査の補助対象に母乳外来の受診費用を加えることや、市として「母乳育児を進める会」等への支援体制の充実を検討してはどうか。</p> <p>(3) 保育所における母乳育児支援について (要旨) 職場復帰する母親が搾乳した母乳を保育所で与えて欲しいと希望した場合に対応できないか。</p>		

発言順位	10	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発言事項	<p>1 市民とともに進めるエネルギーシフトについて</p> <p>(1) 明石のまちづくりにおけるゼロエミッション住宅の促進について (要旨) エネルギーシフトを行う上で、高い断熱性能と高効率設備による可能な限りの省エネ化と、太陽光・太陽熱等の再生可能エネルギー導入で、CO2排出量が概ねゼロになるゼロエミッション住宅の促進は欠かせない施策である。 藤沢市では、19ヘクタール、約570戸全ての南向き屋根に太陽光パネルを設置し、蓄電池やガス燃料電池を装備している家も多く、まちが丸ごと再エネ発電所になっている。 本市もJT跡地をはじめとする新しいまちづくりにおいて、このような視点が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 市民とともに進める再生可能エネルギー導入の仕組みについて (要旨) ドイツでは、太陽光パネルは住宅の屋根などの人工物に設置し、自然環境への負荷をかけないことが前提になっている。その推進のために、屋根の発電可能性を評価したマップ(ソーラーマッピング)を作成し、自宅の評価結果をネットで見られる仕組みができています。 市民と協働で、再生可能エネルギーの地産地消を行うために、ソーラーマッピングや発電設備設置を支援するなどの仕組みづくりが必要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 公共施設の電力調達について (要旨) 吹田市では、電力の調達に係る環境配慮方針を策定し、電力の調達契約の競争入札を実施する場合、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給する等、環境に配慮した小売電気事業者から電力調達を行う制度を導入している。 一方、本市は、平成29年度の財政健全化の取り組みとして、高圧受電施設直営管理66施設、指定管理17施設の一括入札を行い、すべて関西電力が落札している。今後は、本市も環境に配慮した電力調達を行うべきだと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(4) (仮称) 地域エネルギーを生かす明石のまちづくり条例の制定について (要旨) 恵まれた自然を生かしたまちづくりを基本とし、市民と地域が主役のエネルギーシフトを実現させるためには、地域主導の原則や合意形成手続き、生物多様性に配慮したゾーニングなど、自治体のルールを明確にした地域エネルギーに関するまちづくり条例が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	10	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発 言 事 項	<p>2 子どもにやさしい放課後児童クラブの運営について</p> <p>(1) 教育委員会から福祉局に所管が変更になったことについて (要旨) 本年4月より、所管が変更になったのはなぜか。変更によるメリット、デメリットについて、どのように認識しているのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 作業療法士による支援について (要旨) 岡山県での先進事例をもとに、本市でも作業療法士による支援が始まったと聞いている。年々増加傾向にある支援が必要な児童の放課後の生活を安定させるためには、作業療法士等の専門職の力を借りることが必要である。現時点での進捗状況と成果、課題について聞く。 また、より効果のある取り組みとするためには、指導員研修の充実や専門職員の雇用等、今後の展開が考えられるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 施設等、環境整備について (要旨) 本市は、空き教室がなくなるとプレハブ教室を設置して対応している。他市では、夏は涼しく、冬は温かい木造での施設整備を行っているところや、静養室の設置、可動式パーテーションの使用で多目的な利用ができる広いスペースの確保など、子どもたちが放課後の生活の場として安心してゆっくり過ごせるよう環境整備が進んでいる事例がある。本市も取り入れるべき視点だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(4) 夏休み期間限定の児童受入れについて (要旨) どのような方法で受入れをするのか。指導員の欠員や定員を超過して子どもを預かっている等の状況がある中、安全面などのリスク管理についてどのような対策をしようとしているのか。 また、通年で利用している児童に影響が出ないようにするために、どのように対応するのか。本来は、通年利用の受入れとは別に受入れる体制を作るべきであると考え、市の見解を問う。</p>		

発言順位	10	議員名	丸谷 聡子(未来市民)
発言事項	<p>3 地域総合支援センターの役割について</p> <p>(1) 高齢者支援の充実について (要旨) 13カ所あった在宅介護支援センターの役割が6カ所の地域総合支援センターに集約され、身近に相談できる場所がなくなり、相談しづらくなったとの声を高齢者から聞いている。 本年4月からの相談件数や内容について、現状はどのようになっているか。サテライト相談など、積極的なアウトリーチが必要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 生活支援コーディネーターの役割について (要旨) 生活支援コーディネーターは、どのような役割を担っているのか。地域から入ってくる情報については、どのような対処をしているのか、多様なセクションとの連携はできているのか、「つなぐ=たらい回し」になっていないか、緊急を要する場合の体制は整っているのか等について、市の見解を問う。</p> <p>(3) ひきこもりへの対応について (要旨) 明石市「こころのケア」プロジェクトとして、こころの相談窓口を開設している。市民から、今まで相談してもどうにもならなかったひきこもりの問題に対して新たな対応ができるようになったのかと期待の声をお聞きした。 このプロジェクトによってどのような課題が解決されるのか、実態把握をどのようにしていくのか、今後、ひきこもりの支援をどのように行っていくのか、市の見解を問う。</p> <p>(4) ヤングケアラーへの対応について (要旨) 家族の介護を担う18歳未満の子どもや若者のことをヤングケアラーと呼び、近年は、その問題がメディアでも取り上げられるようになってきている。総務省が実施した平成24年就業構造基本調査によると、15歳～29歳の家族介護者は約17万7600人で、進学や就職を諦めるケースも多いと言われている。 ヤングケアラーに該当すると思われる相談や地域からの情報提供があった場合、地域総合支援センターは、どのような役割を担うのか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>1 国と連携した地域経済の活性化について</p> <p>(1) 明石市の地域経済を取り巻く現状と課題について (要旨) 本市はこどもを核としたまちづくり施策の先進的な取り組みにより、人口、出生率、税収、交流人口等が増加する好循環にある。次のステップでは、地域産業、地域経済の活性化を進め、持続性のある流れをつくるべきである。現状と課題についてお答えください。</p> <p>(2) 国が進める生産性向上特別措置法への対応について (要旨) 日本企業の99.7%を占める中小企業が生産性向上特別措置法については、閣議決定後の3月上旬までに、各市町村に導入促進基本計画の策定や固定資産税の特例率導入等に関する意向確認についてアンケート調査があったが、県下で本市だけ対応に大変な遅れがある。なぜ対応が遅れたのか、お答えください。</p> <p>(3) 上記特措法による支援策への本市の取り組みについて (要旨) 4月にアンケート結果が公表されたが、他市町では5月までに補助金申請を行い、6月議会で条例改正により税率を決定し、7月の施行と同時に交付決定の予定であると聞いている。本市の取り組み状況をお答えください。</p> <p>2 ふるさと納税の拡充について</p> <p>(1) ふるさと納税の実績と課題について (要旨) 平成28、29年度の取り組みと実績及び課題についてお答えください。</p> <p>(2) ふるさと納税の拡充について (要旨) 平成29年6月議会において、返礼品については寄付額の3割を上限とする制度の趣旨を踏まえながら、明石のたからものをブランド化することを視野に検討したいとの答弁がありました。応援事業のメニューも含めて、今後の拡充についてお答えください。</p> <p>(3) 総務省が提唱する新しい取り組みについて (要旨) 本年4月1日付の総務省通知によると、クラウドファンディング型のふるさと納税を活用した「ふるさと起業家支援プロジェクト」及び「ふるさと移住交流促進プロジェクト」を立ち上げたところであり、各地方団体においては、こうした取り組みを積極的に進めることが期待されますとありましたが、これについて本市の考えをお答えください。</p>		

発言順位	11	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	3 あかし動物センター開設後の経過について		
	<p>(1) 開設後の取り組みと課題について (要旨) 本年4月にあかし動物センターが開設し、3カ月が経過しました。これまでの取り組みと課題についてお答えください。</p> <p>(2) 市民本位の譲渡会について (要旨) 今月10日に第1回目の譲渡会がありました。日曜日であり、多くの子ども連れのご家族が参加され活況でした。今後も譲渡会の土日開催を続けることが、殺処分ゼロを目指すためには必須の条件であると思います。センターを市民本位の運営とするために、日曜日を通常業務としてはどうかと思います。本市の考えをお答えください。</p> <p>(3) 運営協議会設置について (要旨) センターの運営について、動物愛護の関係団体で構成する「あかし動物センター運営協議会」を設置することになっていますが、現在のところ未設置とお聞きしています。本市の目指す動物と共生するまちづくりのために早急な設置が望まれますが、考えをお聞かせください。</p> <p>(4) 動物愛護教育の取り組みについて (要旨) 近年、動物虐待の動画がインターネット上で公開され、子どもでもスマートフォン等で簡単に見ることができてしまいます。明石市の全ての子どもに動物愛護教育を行う一環として、同センターの見学体制を整えることも必要ではないかと思いますが、本市の考えをお答えください。</p>		

発言順位	12	議員名	永井俊作(未来市民)
発 言 事 項	<p>1 市制100周年・明石城築城400周年の取り組みについて</p> <p>(1) 市制100周年記念事業の趣旨並びに目的について (要旨) 市制100周年記念事業の趣旨並びに目的を聞きたい。また、市民へのPRはどのようにするのか。</p> <p>(2) 市民との協働による市制100周年記念事業について (要旨) 100周年記念事業については、どこで議論されているのか。自治基本条例には、市民参加・参画、市民との協働がうたわれている。100周年の記念事業も市民参加・参画のもと、市民との協働で取り組むべきだと思うが、いかがか。</p> <p>(3) 明石城築城400周年における兵庫県との連携について (要旨) 記念事業の取り組みにおける兵庫県との連携はどうなっているのか。市長は県知事と協議などを行っているのか。</p> <p>2 介護職員の確保について</p> <p>(1) 介護職員の確保対策について (要旨) 2025年には約38万人の介護職員が不足する見込みであることについての認識と、介護職員の確保対策について聞きたい。</p> <p>(2) 介護職員の賃金と労働条件の改善について (要旨) 介護職員の月収は、全労働者の平均月収に比べ約10万円少ない。明石市周辺の介護職員の賃金・労働条件の実態並びに改善について、市の認識と対策を聞きたい。</p> <p>(3) 外国人の介護職員の確保対策について (要旨) 介護現場での人手不足に対し外国人の労働力活用に期待が高まっている。横浜市や篠山市は、介護職員の養成・確保や介護職員の身体的な負担の軽減を検討し、対策を具体化している。人材育成並びに確保の対策を聞きたい。</p>		

発言順位	12	議員名	永井俊作(未来市民)
発言事項	<p>3 空き家の現状と活用について</p> <p>(1) 明石市の空き家対策について (要旨) 明石市の空き家の現状と、「明石市空家等の適正な管理に関する条例」制定の目的並びに対策について聞きたい。</p> <p>(2) 明石市の危険な老朽空き家の状況と対策について (要旨) 危険な老朽空き家の戸数と除却戸数、そして、略式代執行と行政代執行の実施状況と課題について聞きたい。</p> <p>(3) 子育て世代への空き家の活用について (要旨) 空き家は資源であり、子育て世代の居住や子どもの居場所、放課後児童クラブなどに活用すべきではないか。</p> <p>(4) 改修費の助成について (要旨) 空き家を子育て世代への賃貸住宅や公共施設に転用するためのリフォーム費用について助成制度を創設できないか。</p>		
	<p>4 学校図書館の充実について</p> <p>(1) 学校図書館の目的並びに運営状況、図書整備の状況について (要旨) 学校図書館の目的とその運営状況、そして学校図書館図書標準の達成状況を聞きたい。</p> <p>(2) 学校司書の配置とスキルアップ等の取り組みについて (要旨) 学校司書は全校に配置すべきである。配置とスキルアップ等の取り組みに対する考えを聞きたい。</p> <p>(3) 市立図書館との連携について (要旨) 市立図書館と学校図書館とのシステム連携や、市立図書館の司書を学校へ派遣し、小中学校や地域の子どもたち、ブックママなどに対し指導やアドバイスをすることはできないか。</p>		

発言順位	13	議員名	楠本 美紀 (日本共産党)
発言事項	<p>1 介護保険について</p> <p>(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の現状と課題について (要旨) 要支援1、2の認定数の推移、訪問介護の新しいサービスの利用者数、生活援助サービスに従事するための一定研修の修了者数と実際仕事に就いた人数、及びデイサービスにおける短期集中予防サービスについて聞く。</p> <p>(2) 認知症対策について (要旨) 認知症患者本人の集える場や家族をフォローする家族会はあるのか。早期発見や適切な対処が必要とされるが、認知症サポーターの数を増やすべきではないのか。 また、認知症と診断されると、精神障害者保健福祉手帳の申請ができるが、家族の方には周知されているのか。</p> <p>(3) 市民の要望に応えられる職員数になっているのか。 (要旨) 中核市になり、介護保険の分野でも県から事務の移譲があった。仕事量は大幅に増えているが、職員は増えたのか。市民の要望に十分応えられる体制になっているのか。</p> <p>(4) 介護医療院について (要旨) 介護医療院とはどのような施設なのか、本人負担は介護療養型医療施設とどう違うのか。</p> <p>2 ひきこもり対策について</p> <p>(1) 本市でのひきこもりの現状はどうなっているのか。 (要旨) 人数、年齢構成、居場所づくり、親の会等は、どうなっているのか。</p> <p>(2) こころのケア相談が始まったがどのような状況か。 (要旨) 市では今年4月から「こころのケア」プロジェクトとしてさまざまな取り組みが始まったが、どのような取り組みなのか。また、「こころの相談」も始まったが、どのような状況なのか。ひきこもりに関する相談は寄せられているのか。</p> <p>(3) 自立までの支援策はどのように考えているのか。 (要旨) ひきこもりから脱出することができた後、自立までの支援策はどうなっているのか。</p>		

発言順位	13	議員名	楠本 美紀 (日本共産党)
発言事項	<p>3 共生社会ホストタウンについて</p> <p>(1) 具体的にどのようなことが行われるのか。 (要旨) 本市は国から共生社会ホストタウンの指定を受けた。韓国の車いす卓球チームとのさまざまな交流をきっかけとして、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを加速させるとともに、「人にやさしいまちづくり」を全国に広めることで、共生社会の実現を目指すとされているが、具体的にどのようなことが行われるのか。</p> <p>(2) 日ごろから市民がよく利用する公共施設のバリアフリー化はできているのか。 (要旨) 障害者の方も、高齢者の方もすべての方が利用しやすいように、施設にエレベーター設置、トイレの洋式化、多目的トイレの設置などが必要であると思うが、現状はどうか。</p>		

発言順位	14	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p>1 共生社会の実現に向けて</p> <p>(1) ヘルプマークとヘルプカードの理解、普及について (要旨) 兵庫県でもヘルプマーク、ヘルプカードの交付申請が始まったが、本市では県に先駆けてヘルプカードの配付が開始された。市民の理解、普及率についてお尋ねしたい。</p> <p>(2) 理解促進、普及啓発方法について (要旨) 掲示方法や場所など、市民への普及啓発方法についてお尋ねしたい。</p> <p>2 旧優生保護法下において実施された強制不妊手術について</p> <p>(1) 旧優生保護法下において実施された強制不妊手術への対応について (要旨) 旧優生保護法下において実施された強制不妊手術について、障害のある市民への配慮に取り組んでいる本市として、当事者に寄り添った対応を実施していただきたい。</p>		

発言順位	15	議員名	辻本達也(日本共産党)
発言事項	<p>1 鉄道の安全対策について</p> <p>(1) JR大久保駅における利用者の安全確保について (要旨) ホームを拡幅する必要があると考える。</p> <p>(2) 駅ホームの安全対策について (要旨) 列車の接近と発車を知らせる発光式(LED)列車案内表示器の設置について、見解を問う。</p> <p>(3) 踏切の安全対策について (要旨) 板額踏切は、八木松陰線の整備により自動車の通行量が減少するとされていたが、現時点における同踏切の通行量はどのようになっているか。踏切の拡幅や賢い踏切の導入など、今後の対策について問う。</p> <p>2 児童・生徒の口腔衛生対策について</p> <p>(1) 口腔崩壊の現状について (要旨) 本市の児童・生徒の口腔崩壊の現状について、見解を問う。</p> <p>(2) 今後の対策について (要旨) こども医療費助成制度を高校卒業まで拡充することについて、見解を問う。</p> <p>3 市立図書館における「不明本」について</p> <p>(1) 不明本に対する認識について (要旨) 市立図書館における「不明本」の発生原因、冊数、被害額、その後の対応について、見解を問う。</p> <p>(2) 今後の対策について (要旨) どのように対応するか、見解を問う。</p> <p>4 斎場管理センターの諸問題について</p> <p>(1) 業者とのゴルフコンペ(AST杯)について (要旨) 市の認識を問う。</p> <p>(2) 浸水対策について (要旨) このたび、実施される浸水対策工事について認識を問う。</p> <p>(3) 設計について (要旨) 建設当初の計画に問題があったのではないか。</p> <p>(4) 雨水排水計画について (要旨) 公的開発申請に基づく事前協議において、どのような判断がなされたのか。</p>		

発言順位	15	議員名	辻本 達也（日本共産党）
発言事項	<p>5 公園管理事務所の諸問題について</p> <p>(1) 職員の法令等に違反する行為について (要旨) 市の認識を問う。</p> <p>(2) 御崎神社の木を市が伐採したことについて (要旨) 本来は、土地の所有者・管理者が伐採すべきと考える。</p>		